

日本教育保健学会年報第7号

巻頭言

和田雅史(国際基督教大学高等学校)

第I部 総説

・学校におけるアレルギー疾患についての提案

下村義夫(岡山大学教育学部)・井田江利子(岡山県岡山操山高等学校)・鈴木薫(岡山大学教育学部
附属幼稚園)・市場尚文(岡山市保健所)

第II部 報告

・「教育保健(学)」概念プロジェクト(中間報告)

数見隆生(宮城教育大学)・高橋裕子(愛知教育大学)

・学校健康診断論の潮流と論点

澤山信一(吉備国際大学)

・戦後学校健康診断の政策動向—二つの「健康診断調査委員会」を中心に—

佐藤理(福島大学教育学部)

・「子どものための健康診断」の実践的追求—1990年代の健康診断実践の動向—

藤田和也(一橋大学)

第III部 資料

「学校健康診断を問う—その理論・政策・実践」

「小学校の保健授業づくり」

第IV部 書評

多田羅浩三『公衆衛生の思想 歴史からの教訓』